

19 病院病理部

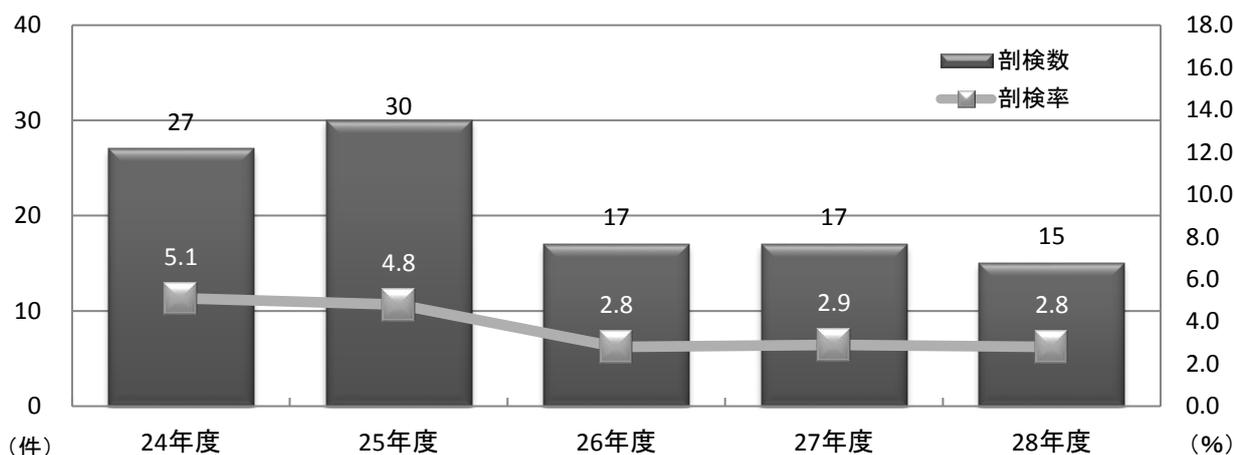


病院病理部では、精度が高く迅速な病理診断を行うことを方針として、各種業務に取り組んでいる。院内の診断業務はもとより、ささやま医療センターの作製済み標本の組織診・細胞診及び兵庫医科大学健康医学クリニックの組織の検体作製からの診断も行っている。28年度は前年度に比して、組織診検査（術中迅速診断含む）の件数が増加した。ブロック数は減少しているが、昨年、新切出し室ができたことにより、切出しを病理医中心に行うことで無駄を省き必要最小限の個数を作製するようになったことが理由に挙げられる。FISHはHER2に加えALKも行なっている。当院での連続迅速自動固定包埋装置を用いた当日病理組織診断（One Day Pathology）は導入して10年目を迎え、患者さんの精神的・時間的な負担の軽減を実践している。内視鏡センターと協力して患者さんに貢献できるようさらに努めていきたい。穿刺吸引細胞診や穿刺組織診の材料採取時に臨床検査技師（細胞検査士）がベッドサイドに出向き、検体処理のサポートを行っている（ベッドサイド細胞診）が、これは採取された細胞の変性を最小限にし、診断の精度向上を目的としたものであり、関連臨床各科からの希望は多い。昨年度より内視鏡センターおよびTVセンターでのEUS-FNAにも出向している。液状処理細胞診標本作製装置の導入に伴い、婦人科のスミア標本は液状細胞診へと移行したことにより、適切な標本作製が行うことができ、より正確な判定が可能となった。また、周辺地域の病院から組織検体を受託し、連続迅速自動固定包埋装置を用いて迅速な病理診断を行い、地域医療にも貢献している。

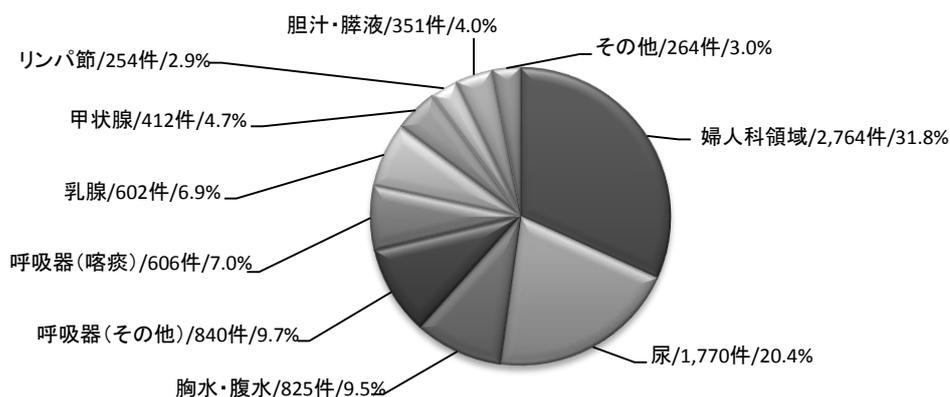
19-1 年度別剖検件数 (件)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率 (%)
院内	27	30	17	17	15	88.2
院外	4	3	2		2	11.8
合計	31	33	19	17	17	100.0

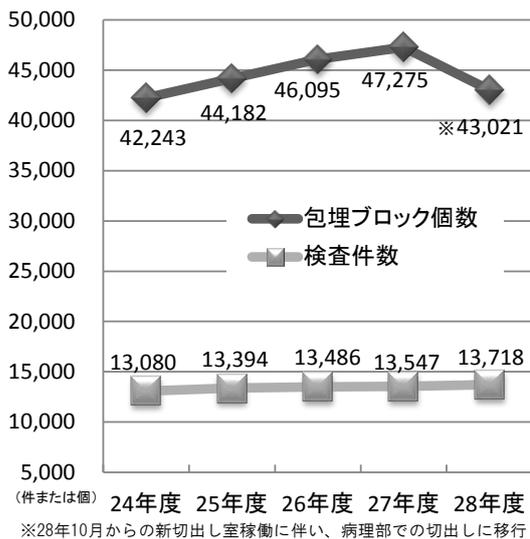
19-2 剖検数及び剖検率の年度別推移



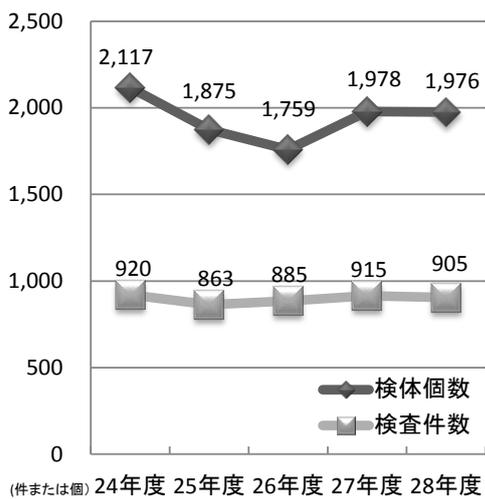
19-3 28年度細胞診検査件数の構成比率（合計8,688件）



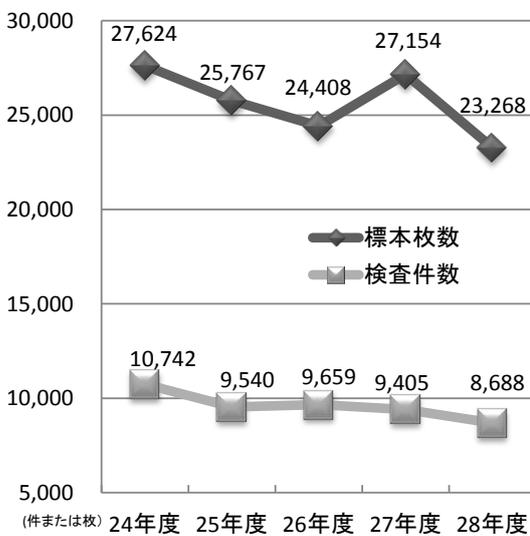
19-4 病理組織検査の年度別推移



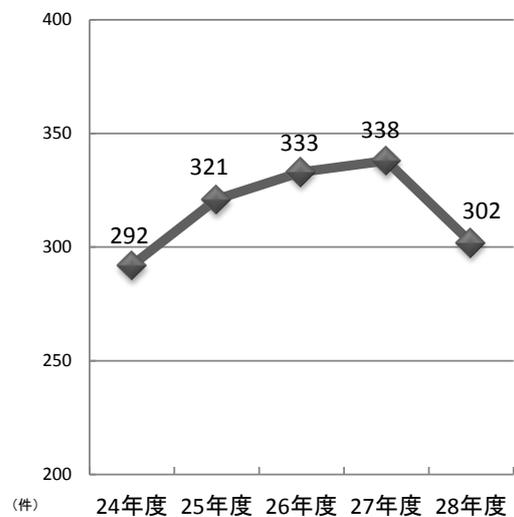
19-5 術中迅速診断検査の年度別推移



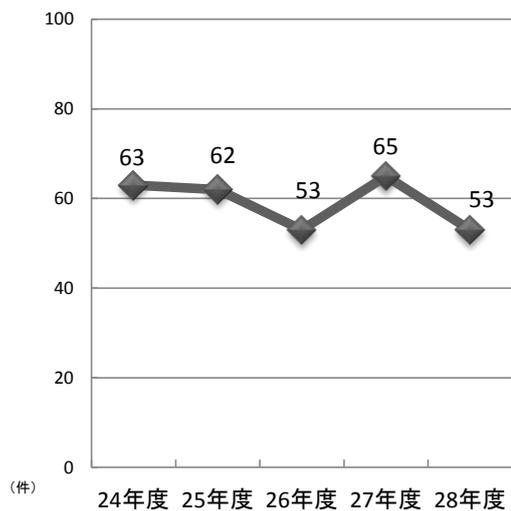
19-6 細胞診検査の年度別推移



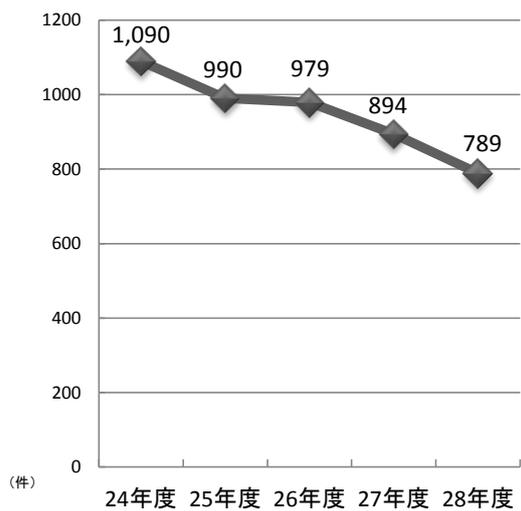
19-7 術中迅速細胞診断検査件数の年度別推移



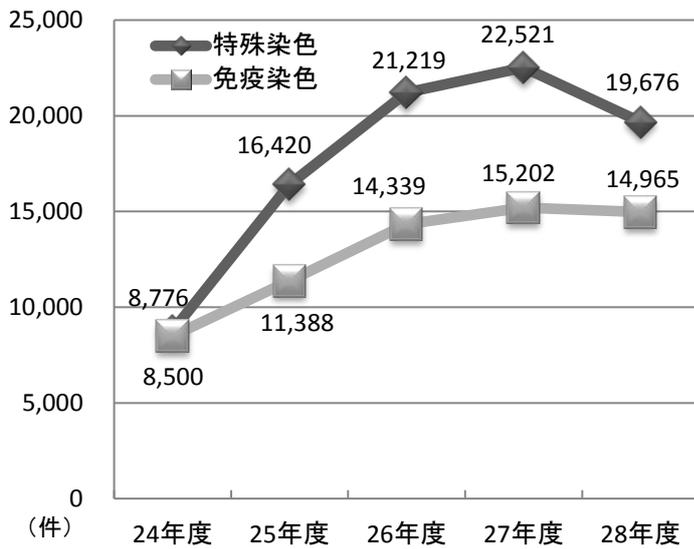
19-8 当日病理組織診断件数の年度別推移



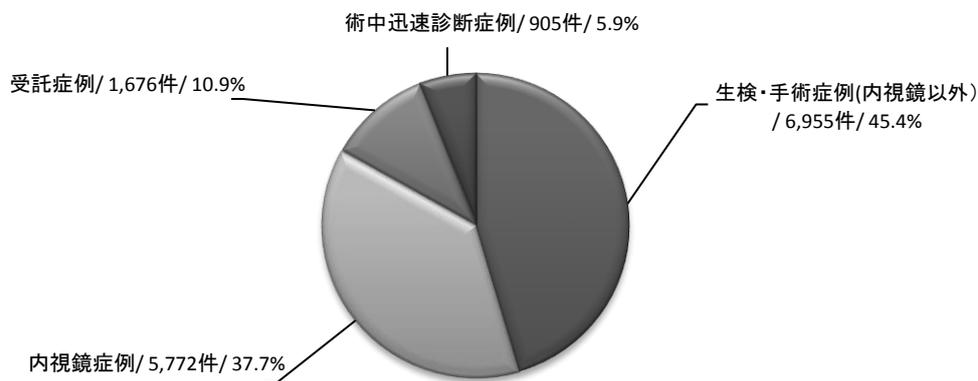
19-9 ベッドサイド細胞診件数の年度別推移



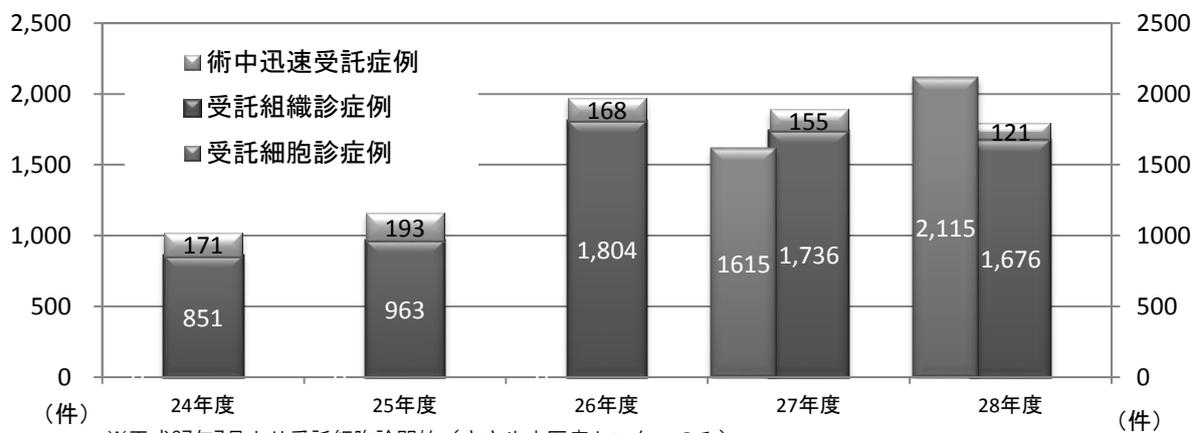
19-10 免疫染色・特殊染色依頼件数の年度別推移



19-11 28年度病理組織検査件数の構成比率 (合計15,308件)



19-12 年度別受託症例数



19-13 年度別HER2・ALK FISH件数

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
乳腺 (HER2)	13	17	13	21	14
胃 (HER2)	26	22	11	12	6
肺 (ALK)	-	-	8	8	6

19-14 年度別・診療科別死亡患者数・剖検数・剖検率

区 分	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	件数	剖検率(%)	件数	剖検率(%)	件数	剖検率(%)	件数	剖検率(%)	件数	剖検率(%)
内 科	死亡 192 (うち剖検 19)	9.9	253 21	8.3	238 12	5.0	250 12	4.8	245 8	3.3
循環器内科	死亡 7 (うち剖検 5)	71.4	51 8	15.7	46 6	13.0	45 2	4.4	73 4	5.5
血液内科	死亡 33 (うち剖検 1)	3.0	29		27		31		29	
リウマチ・ 膠原病内科	死亡 10 (うち剖検)		6 1	16.7	8 1	12.5	11		7 1	14.3
糖尿病・内分 泌・代謝内科	死亡 - (うち剖検 -)	-	-	-	3		2 2	100.0	2	
糖尿病科	死亡 1 (うち剖検)				-		-		-	
内 分 泌 代 謝 科	死亡 1 (うち剖検 1)	100.0	1 1	100.0	- -		- -		- -	
肝・胆・膵内科	死亡 31 (うち剖検 3)	9.7	44 4	9.1	55		40 3	7.5	41 2	4.9
消化管内科	死亡 21 (うち剖検 2)	9.5	17 1	5.9	10 2	20.0	19		21	
炎症性腸疾患 内 科	死亡 - (うち剖検 -)	-	-				1		2	
呼吸器内科	死亡 75 (うち剖検 5)	6.7	89 4	4.5	72 3	4.2	87 4	4.6	62 1	1.6
神 經 内 科	死亡 1 (うち剖検)		4		7		4 1	25.0	2	
腎・透析内科	死亡 7 (うち剖検)		9 1	11.1	10		10		6	
総 合 内 科	死亡 5 (うち剖検 2)	40.0	3 1	33.3						
小 児 科	死亡 3 (うち剖検)		6		3		4		1	
N I C U	死亡 3 (うち剖検 1)	33.3	1		5		2		3 1	33.3
肝・胆・膵外科	死亡 20 (うち剖検)		37 1	2.7	15		17		17 1	5.9
小 児 外 科	死亡 (うち剖検)									
上部消化管外科	死亡 3 (うち剖検)		6 1	16.7	7 1	14.3	6		12	
下部消化管外科	死亡 9 (うち剖検)		8		11		9		6 1	16.7
炎症性腸疾患外科	死亡 - (うち剖検 -)	-	-		2		7		3	
乳腺・内分泌外科	死亡 3 (うち剖検)		4 1	25.0	6		3		11	
心臓血管外科	死亡 13 (うち剖検 2)	15.4	12 1	8.3	11		15 2	13.3	8 2	25.0
呼吸器外科	死亡 3 (うち剖検 1)	33.3	14 1	7.1	10		11 1	9.1	12	
整 形 外 科	死亡 (うち剖検)		1		4 1	25.0	2		9	
形 成 外 科	死亡 1 (うち剖検)		1							
脳 神 經 外 科	死亡 5 (うち剖検)		10		20 1	5.0	18		17	
皮 膚 科	死亡 (うち剖検)		2		1		1			
泌 尿 器 科	死亡 10 (うち剖検 1)	10.0	7		12		7		13 1	7.7
産 科 婦 人 科	死亡 12 (うち剖検)		4 2	50.0	7 1	14.3	12		12	
新 生 児	死亡 (うち剖検)		2				1		2	
眼 科	死亡 (うち剖検)						1			
耳 鼻 咽 喉 科・ 頭 頸 部 外 科	死亡 1 (うち剖検)		5 1	20.0	6		5		7 1	14.3
放 射 線 科	死亡 1 (うち剖検)		1		2		2			
歯 科 口 腔 外 科	死亡 1 (うち剖検 1)	100.0	2		1		1			
輸 血 ・ 細 胞 治 療 科	死亡 - (うち剖検 -)	-	-		-		1		2	
ペ ー シ ョ ン 部	死亡 (うち剖検)									
リ ハ ン ト 部	死亡 (うち剖検)									
救 命 救 急 セ ン タ ー	死亡 212 (うち剖検 2)	0.9	250 1	0.4	250 1	0.4	221 2	0.9	165	
C C U	死亡 31 (うち剖検)		-		-		-		-	
精 神 科 神 經 科	死亡 2 (うち剖検)		1				1			
合 計	死亡 525 (うち剖検 27)	5.1	627 30	4.8	611 17	2.8	596 17	2.9	545 15	2.8
剖 検 率 (%)		5.1		4.8		2.8		2.9		2.8

※25年度よりCCUの死亡数及び剖検数は循環器内科の数値に含める